目次

メニュー

索引

SONY

操作ガイド

NW-A1000 シリーズ / A3000 シリーズ

2-659-086-**04** (1)

目次
メニュー
索引

マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」の2つのマニュアルが付属しています。また、付属のCONNECT Playerソフトウェアをインストールすれば、CONNECT Playerのヘルプを参照できます。

– 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞くまでの準備と基本的な操作（曲の取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。
– この「操作ガイド」は、本機の応用操作や困ったときの対処法を説明しています。
– CONNECT Playerのヘルプは、CONNECT Playerの操作について詳しく説明しています（☞ 3ページ）。

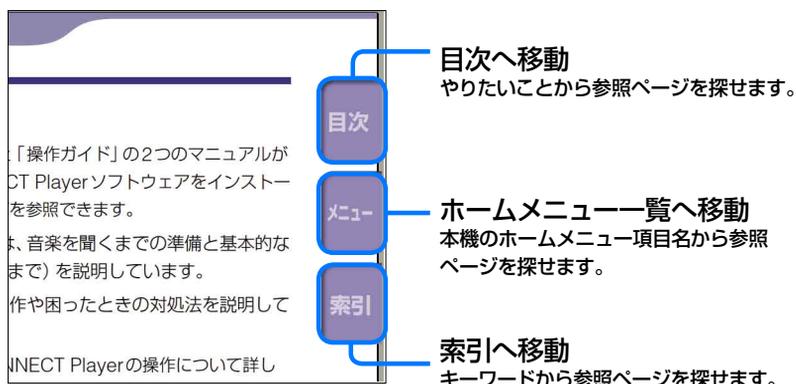
ヒント
- NW-A1000シリーズは、NW-A1000とNW-A1200を表します。
- NW-A3000シリーズは、NW-A3000を表します。

操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使う

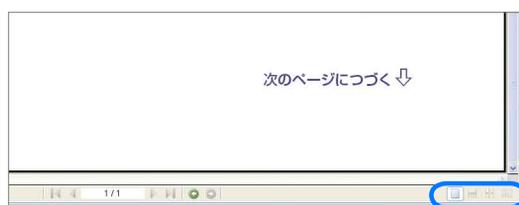
右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示（☞ 2ページ）などをクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ
1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ
ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

CONNECT Playerのヘルプについて

音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法など、CONNECT Playerを使う操作について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

1. **CONNECT Playerを起動した状態で、「ヘルプ」から「CONNECT Playerヘルプ」をクリックする。**
   ヘルプが表示されます。

ご注意

- ヘルプでは、本機を「機器」として説明しています。

目次

目次
メニュー
索引

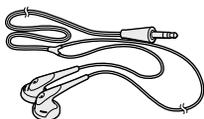
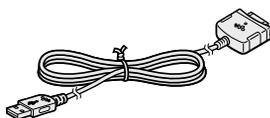
ホームメニュー一覧

ホームメニューは、本機の初回起動時やCONNECT Player接続直後に表示される最初の画面です。本機の各機能への入り口になり、再生や曲の検索、設定変更などができます。
ホームメニューは、BACKを押したままにすると表示されます。

目次
メニュー
索引

付属品を確める

本機には次のものが付属しています。
電池（充電式電池）は、あらかじめ本機に内蔵されています。

- □ ヘッドホン*（1）

- □ USBケーブル（1）

- □ ヘッドホン延長コード*（1）
- □ ACコード（1）
- □ ACパワーアダプター（1）
- □ CD-ROM**（1）
  - – CONNECT Playerソフトウェア
  - – 操作ガイド（PDF）
- □ クイックスタートガイド（1）
- □ 保証書（1）
- □ ソニーご相談窓口のご案内（1）
- □ カスタマー登録のお願い（1）

* ソニースタイルオリジナルモデルには、下記は付属しません。
  – ヘッドホン
  – ヘッドホン延長コード

** 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

ご注意

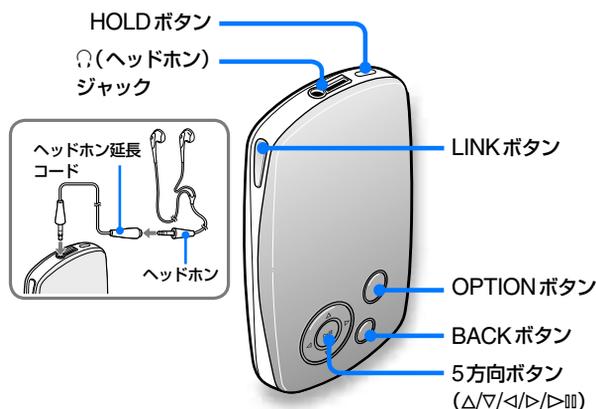
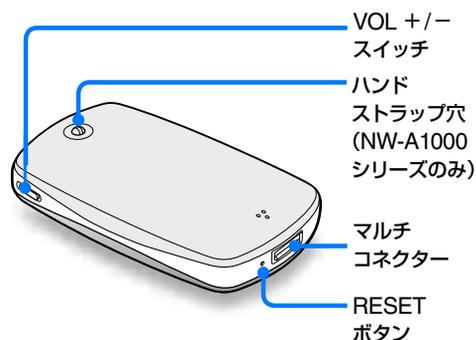
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。
シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。
ラベルをはがさないようにしてください。

目次
メニュー
索引

各部の名前

本体表面

本体裏面

HOLD（ホールド）ボタン

ボタンを押すと「ホールドオン」と表示され、ボタン操作が無効になります。本機がホールド中のときに押すと、「ホールドオフ」と表示され、ホールドが解除されます。電源が切れているときは、ホールド状態にできません。

(ヘッドホン) ジャック

ヘッドホンやヘッドホン延長コードは「カチッ」と音がするまで差し込みます。音がするまで差し込まないと、再生音が正常に聞こえません。
ヘッドホンジャックはラインアウトとしても使えます（☞ 49ページ）。

LINK（リンク）ボタン

再生中の曲から、ジャンルの近いアーティストを探します（☞ 42ページ）。

OPTION（オプション）ボタン

オプションメニューを表示します（☞ 28ページ）。
押したままにする、またはオプションメニューから「電源を切る」を選び、▷II を押すと電源が切れます。

BACK（バック）ボタン

リスト画面の階層を上がったり（☞ 8ページ）、前の画面に戻ります。
押したままにすると、ホームメニューが表示されます。

5方向ボタン

再生を始めたり、項目を選んだりできます（☞ 9ページ）。

VOL（ボリューム）＋/ースイッチ

上下にスライドさせ、音量を調節します。

ハンドストラップ穴
(NW-A1000シリーズのみ)

お手持ちの細いストラップを取り付けられます。取り付けには、ピンセットなどをお使いください。

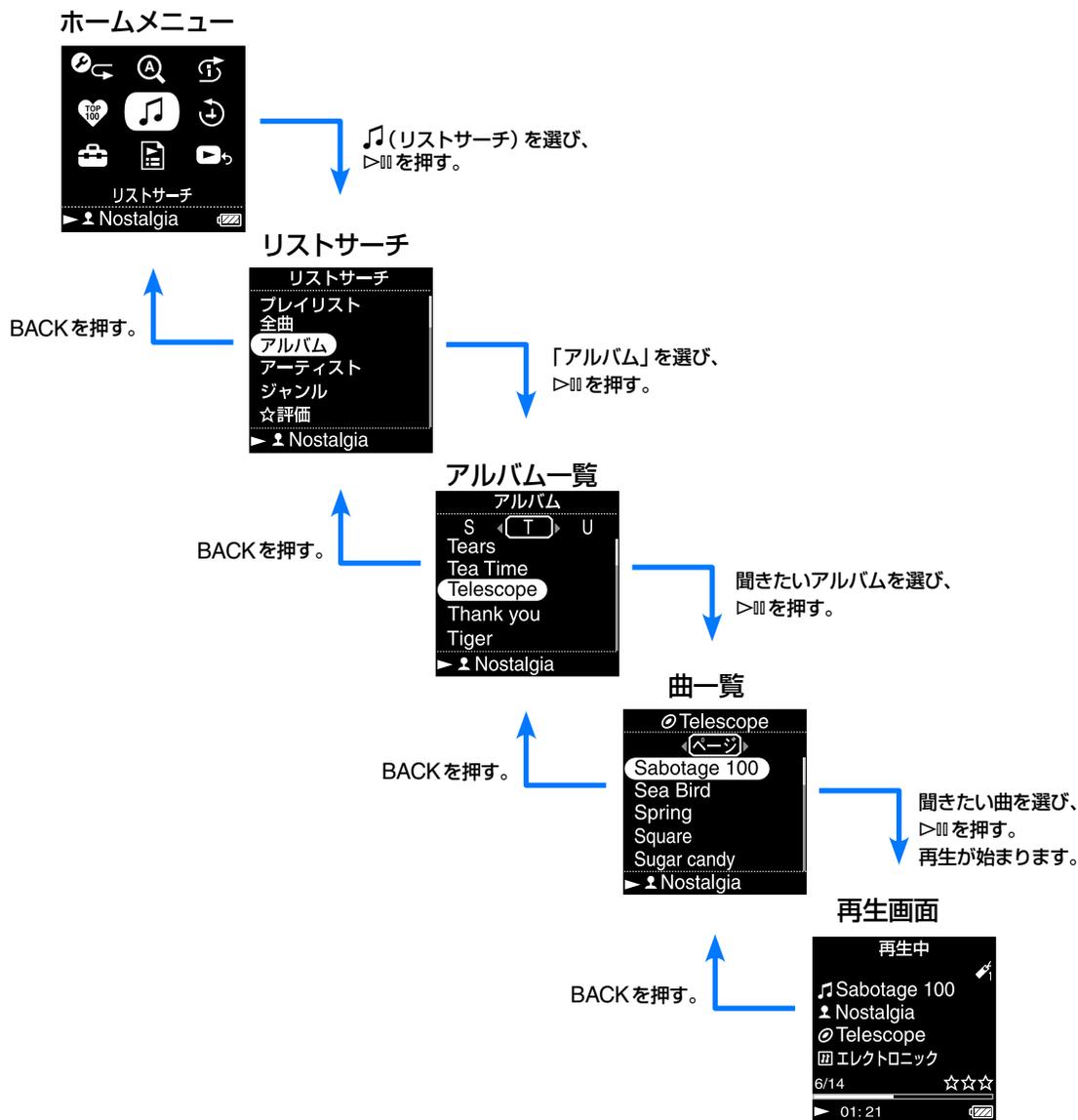
マルチコネクター

付属のUSBケーブルを接続します（☞ 56ページ）。

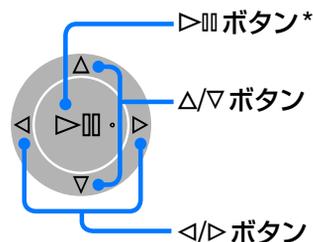
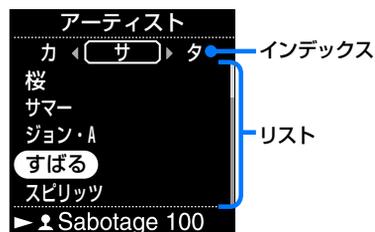
RESET（リセット）ボタン

本機をリセットします（☞ 65ページ）。

操作ボタンの使いかた

5方向ボタンとBACKボタンを使い、画面の切り換えや再生操作、設定などを行います。
例えば、ホームメニューから「リストサーチ」－「アルバム」の順で曲を選ぶと、以下のように画面が切り換わります。

5方向ボタンは、曲を検索したり選択する「リスト画面」と、音楽を再生中に表示される「再生画面」によって動作が異なります。

* ▷II ボタンには、凸点（突起）がついています。
操作の目印として使ってください。

目次
メニュー
索引

リスト画面

再生画面

▷II ボタン

選んだ項目を決定します。
押したままにすると、選んだ項目の全曲を再生します。

△/▽ ボタン

カーソルを上下に移動します。
押したままにすると、速くスクロールします。

◁/▷ ボタン

インデックス表示中に押すと、左右の項目に移動し、画面が切り換わります。

▷II ボタン

再生中は、表示窓の左下に▷が表示されます。再生中に押すと、再生一時停止になり、IIが表示されます。もう一度押すと、再生が再び始まります。再生/一時停止の切り換えは、再生画面でのみ行えます。

△/▽ ボタン

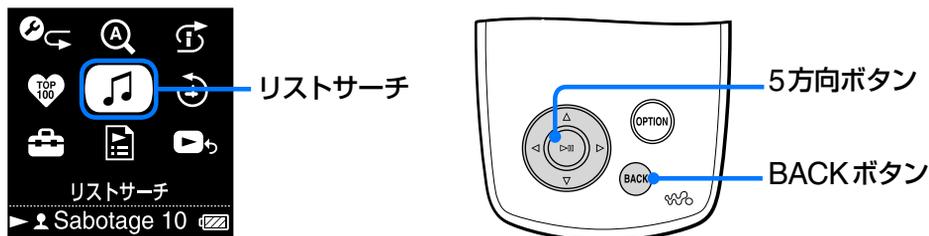
カーソルを表示します。カーソルを上下に移動させ、ジャンルやアルバム名を選択中に▷IIを押すと、再生中の曲と同じジャンルのアーティスト一覧や曲一覧を表示します。

◁/▷ ボタン

前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。
押したままにすると、再生中の曲の早送り/早戻しをします。

目次
メニュー
索引

聞きたい曲を探す

「ジャンル」や「アーティスト」、「アルバム」、「全曲」などから聞きたい曲を探せます。

曲名から探す

曲一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順に並びます。
曲名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順に並びます。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。

2. **△/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。**
   リスト画面が表示されます。

3. **△/▽で「全曲」を選び、▷II を押す。**
   曲一覧が表示されます。

4. **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
   選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 曲一覧で曲を選択中に▷II を押したままにすれば、基本登録先のブックマークリストに登録できます（☞ 31ページ）。

次のページにつづく ⇩

アルバムから探す

アルバム一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順に並びます。アルバム名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順に並びます。

1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。
リスト画面が表示されます。

3 △/▽で「アルバム」を選び、▷II を押す。
アルバム一覧が表示されます。

4 △/▽/◁/▷でアルバムを選び、▷II を押す。
曲一覧が表示されます。

5 △/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順3で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アーティストから探す

アーティスト一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順に並びます。アーティスト名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順に並びます。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽で「アーティスト」を選び、▷II を押す。**
アーティスト一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷でアーティストを選び、▷II を押す。**
アルバム一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷でアルバムを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

❻ **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- アーティスト名の頭文字が、「The」、「THE 」、「ザ」、「ザ・」、「ジ」、「ジ・」、「ざ」、「ざ・」、「じ」、「じ・」の場合、これらの文字を省略して並び換えます。
- 手順❸、❹で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ジャンルから探す

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽で「ジャンル」を選び、▷II を押す。**
ジャンル一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷でジャンルを選び、▷II を押す。**
アーティスト一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷でアーティストを選び、▷II を押す。**
アルバム一覧が表示されます。

❻ **△/▽/◁/▷でアルバムを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

❼ **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順❸から手順❺で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

☆評価から探す

1～5までの星（☆）を付けて曲を評価し、付けた星の数から曲を検索できます。曲の評価について詳しくは、☞ 41ページをご覧ください。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽で「☆評価」を選び、▷II を押す。**
評価一覧が表示されます。

❹ **△/▽で評価（☆1～5で表示）を選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 「☆評価」には、縁取りの星（✩）で表示される自動設定と、塗りつぶした星（★）で表示される手動設定があります。
- 手順❸で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の発売年から探す

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。**
リスト画面が表示されます。

❸ **△/▽で「リリース年」を選び、▷II を押す。**
発売年の一覧が表示されます。

❹ **△/▽で発売年を選び、▷II を押す。**
アーティスト一覧が表示されます。

❺ **△/▽/◁/▷でアーティストを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

❻ **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順❸、❹で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

新しく転送したアルバムから探す

最近3回のCONNECT Player接続時に転送されたアルバムから検索できます。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。

2. **△/▽/◁/▷で♫（リストサーチ）を選び、▷II を押す。**
   リスト画面が表示されます。

3. **△/▽で「最近転送したアルバム」を選び、▷II を押す。**
   転送回選択画面が表示されます。

4. **△/▽で転送回を選び、▷II を押す。**
   選んだ転送回に転送されたアルバムの一覧が表示されます。

5. **△/▽/◁/▷でアルバムを選び、▷II を押す。**
   曲一覧が表示されます。

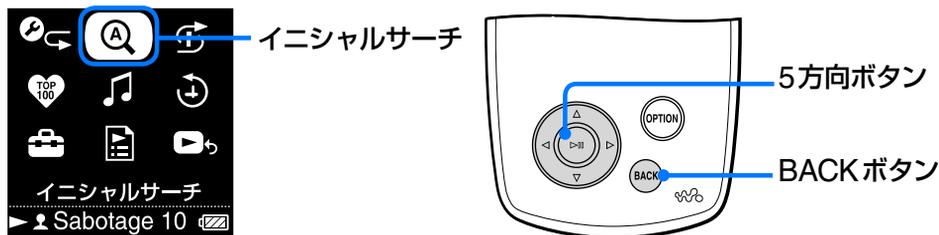
6. **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
   選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順3、4で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

目次
メニュー
索引

頭文字で曲を探す（イニシャルサーチ）

アーティスト名、アルバム名、または曲名の頭文字（イニシャル）で曲を検索できます。日本語表示の場合は、読み仮名で検索できます。

1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で（イニシャルサーチ）を選び、▷II を押す。
文字選択画面が表示されます。

3 ◁/▷で「カナ」または「英数字」を選び、▽を押してカーソルを文字一覧へ移動させる。

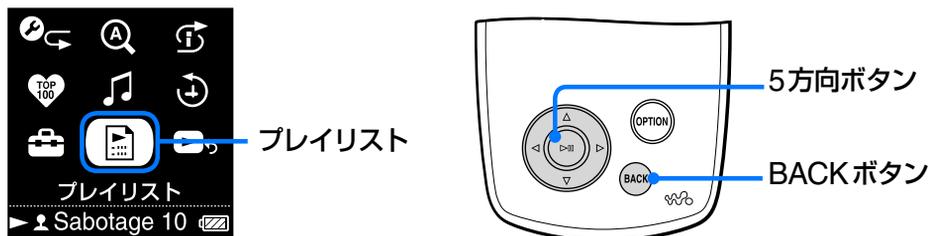
4 △/▽/◁/▷で頭文字を選び、▷II を押す。
検索対象を選ぶ画面が表示されます。
「曲」は曲名、「アーティスト」はアーティスト名、「アルバム」はアルバム名で検索します。

5 △/▽で検索対象を選び、▷II を押す。
「サーチ中」と表示され、検索が終わると、検索結果画面が表示されます。
「アーティスト」または「アルバム」を選んだ場合は、一覧から更に細かく曲を検索できます。
アーティストやアルバムを選択中に、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

ご注意
- 「サーチ中」表示中は、本機の操作はできません。

目次
メニュー
索引

プレイリストを再生する

CONNECT Playerで作成したプレイリストや、本機で作成したプレイリスト（ブックマークリスト）などを再生できます。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷II を押す。**
プレイリスト一覧が表示されます。
プレイリストの種類について詳しくは、☞ 19ページをご覧ください。

❸ **△/▽/◁/▷でプレイリストを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 「リストサーチ」からも「プレイリスト」を選べます。
- 手順❷で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

プレイリスト一覧

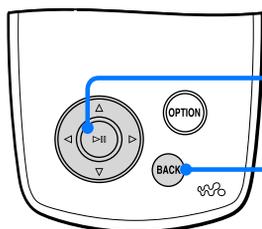
プレイリストには以下の5種類があります。

プレイリストの種類	説明
ブックマーク1～5[1]	本機で作成するプレイリスト（「ブックマークリスト」と呼びます）です。5つのブックマークリストがあります。ブックマークリスト再生中は再生画面で、再生中のブックマークのアイコンに下線が表示されます。ブックマークリストへの曲の登録/編集については、☞ 31ページをご覧ください。
プレイリスト[1]	CONNECT Playerで作成するプレイリストです。プレイリストの作成については、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。
よく聞く100曲	CONNECT Playerが自動で作成するプレイリストです。CONNECT Player接続時に、再生回数の多い100曲が更新され、再生回数の多い順に表示します。
削除予定リスト	削除予定の曲を登録するプレイリストです。リストに登録すると、次回CONNECT Player接続時に、本機から削除されます。削除予定リストへの曲の登録については、☞ 38ページをご覧ください。

1）CONNECT Playerで名前を変更すると、変更した名前で表示されます。

目次
メニュー
索引

よく聞く100曲を再生する

再生回数の多い100曲を再生できます。

1 **BACKを押したままにする。**

ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で ♥（よく聞く100曲）を選び、▷II を押す。**

再生回数の多い100曲が一覧表示されます。

3 **△/▽/◁/▷で再生を始めたい曲を選び、▷II を押す。**

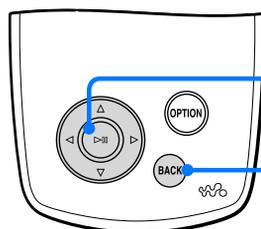
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- よく聞く100曲は、CONNECT Player接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 再生した曲が100曲未満のとき、または本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。

目次
メニュー
索引

再生した日付で曲を探す

再生した日付から曲を選んで再生できます。

❶ **BACKを押したままにする。**

ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（再生履歴）を選び、▷II を押す。**

最近の再生日から順に表示されます。

❸ **◁/▷で年月、△/▽で日付を選び、▷II を押す。**

選んだ日付に再生された曲が、一覧表示されます。

❹ **△/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。**

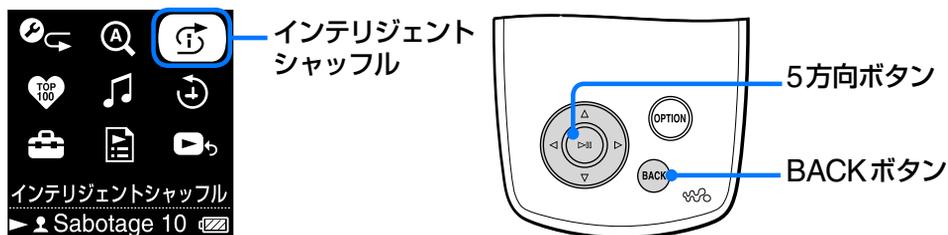
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 本機で曲を15秒以上再生後、CONNECT Playerに接続することにより、その時点までに再生した曲が再生履歴の曲一覧に反映されます。
- 再生時間が15秒未満の曲は、再生履歴の曲一覧に反映されません。
- 手順❸で一覧から項目を選び、▷II を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

目次
メニュー
索引

インテリジェントシャッフル再生する

「よく聞くシャッフル」、「タイムマシンシャッフル」、「全曲シャッフル」の3つのシャッフルモードから選び、曲を順不同に再生（シャッフル再生）できます。

よく聞く100曲をシャッフル再生する

再生回数の多い100曲を順不同に再生できます。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（インテリジェントシャッフル）を選び、▷II を押す。**
シャッフル再生選択画面が表示されます。

❸ **△/▽で「よく聞くシャッフル」を選び、▷II を押す。**
「よく聞く100曲をシャッフル再生します。」と表示され、再生が始まります。
再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  – 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
  – アーティストリンクを始める。
  – プレイモードを変更する。
- よく聞く100曲は、CONNECT Player接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 再生した曲が100曲未満のとき、または本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ご注意

- シャッフル再生中に◁を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、◁を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または▷を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。

同じ発売年の曲をシャッフル再生する（タイムマシンシャッフル）

発売年をランダムに選び、その年に発売された全曲を順不同に再生できます。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。

2. **△/▽/◁/▷で（インテリジェントシャッフル）を選び、▷II を押す。**
   シャッフル再生選択画面が表示されます。

3. **△/▽で「タイムマシンシャッフル」を選び、▷II を押す。**
   発売年がランダムに選択され、「2005年にリリースされた曲をシャッフル再生します。」などと表示され、再生が始まります。
   再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  – 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
  – アーティストリンクを始める。
  – プレイモードを変更する。

ご注意

- 発売年を選択中は、本機の操作はできません。
- 本機に保存されている全曲の発売年が不明な場合は、全曲シャッフル再生します。
- 本機に保存されている全曲の発売年が1つの年だけの場合、または1つの年以外の曲の発売年が不明な場合は、発売年選択中のアニメーションは表示されず、「2005年にリリースされた曲をシャッフル再生します。」などと表示され、再生が始まります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- シャッフル再生中に◁を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、◁を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または▷を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。

全曲をシャッフル再生する

本機内の全曲を順不同に再生します。

1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で（インテリジェントシャッフル）を選び、▷II を押す。
シャッフル再生選択画面が表示されます。

3 △/▽で「全曲シャッフル」を選び、▷II を押す。
「全曲をシャッフル再生します。」と表示され、再生が始まります。
再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

ヒント

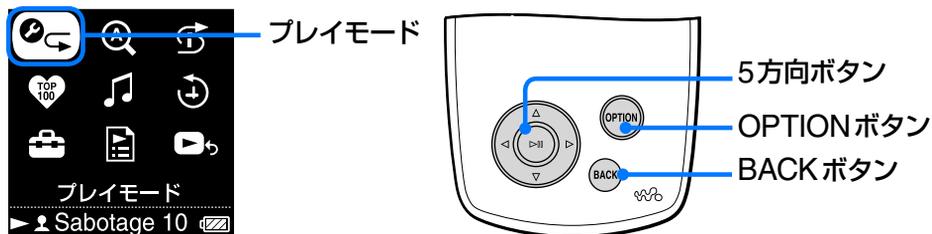
- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  - 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
  - アーティストリンクを始める。
  - プレイモードを変更する。

ご注意

- シャッフル再生中に◁を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、◁を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または▷を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。

目次
メニュー
索引

再生方法（プレイモード）を変える

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で（プレイモード）を選び、▷॥を押す。

プレイモードモード一覧が表示されます。

再生中にOPTIONを押し、表示されたオプションメニューから「プレイモード」を選んでも、プレイモードモード一覧を表示できます。

3 △/▽でプレイモード（☞ 26ページ）を選び、▷॥を押す。

ホームメニューから選んだ場合は、ホームメニューへ戻ります。

曲の再生中に選んだ場合は、再生画面に戻ります。

次のページにつづく ⇩

プレイモード一覧

モードの種類 / アイコン	説明
ノーマル/表示なし	選んだ曲以降の全曲を、曲一覧の順に1回再生し、一時停止します。
リピート/	再生中の（または曲一覧で選んだ）曲を再生後、その曲を含むアルバムやアーティストなど、再生を始めた項目の曲を順に繰り返し再生します。
シャッフル/SHUF	再生中の（または曲一覧で選んだ）曲を再生後、その曲を含むアルバムやアーティストなど、再生を始めた項目の曲を順不同に再生します。
シャッフルリピート/ SHUF	再生中の（または曲一覧で選んだ）曲を再生後、その曲を含むアルバムやアーティストなど、再生を始めた項目の曲を順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート/1	再生中の（または曲一覧で選んだ）曲を、繰り返し再生します。

ご注意

- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- シャッフル再生中に◁を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、◁を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または▷を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。

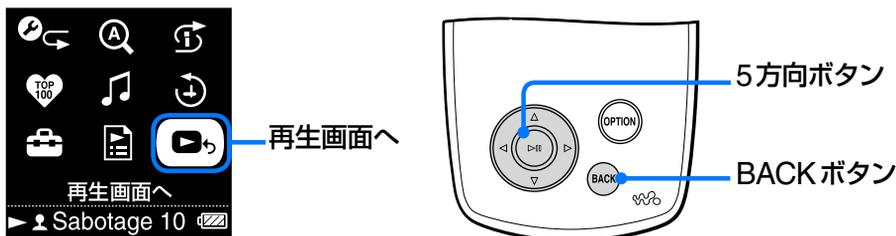
目次
メニュー
索引

再生画面を表示する

再生画面を表示すれば、再生中の曲のアーティスト名やアルバム名など、曲情報が確認できます。

1 **BACKを押したままにする。**

ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で ▶↺(再生画面へ)を選び、▷II を押す。**

現在再生されている曲情報が表示されます。

ヒント

- オプションメニューから「曲情報の表示」を選択すれば、発売年や再生時間、音楽ファイル形式、ビットレート*などの曲の詳細情報を表示できます。

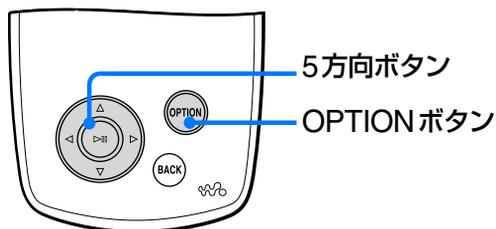
  * ビットレートが可変ビットレートの場合は、「VBR」と表示されます。

ご注意

- VBR再生時は、再生時間の表示や再生位置を表示するバーが安定せず、誤差が生じる場合があります。

目次
メニュー
索引

オプションメニューを表示する

オプションメニューを表示すれば、再生中の曲の編集や、いろいろな設定ができます。

❶ **OPTIONを押す。**

オプションメニューが表示されます。

❷ **△/▽で項目を選び、▷II を押す。**

選んだ項目の設定画面が表示されたり、選んだ項目が実行されます。
オプションメニューの項目は、☞ 29ページをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- OPTIONを押すと、オプションメニューが表示されます。
  オプションメニューには、下記の項目があります。

項目	説明 / 参照ページ
アルバムでサーチ	☞ 30ページをご覧ください。
アーティストでサーチ	☞ 30ページをご覧ください。
ジャンルでサーチ	☞ 30ページをご覧ください。
ブックマークに登録	☞ 31ページをご覧ください。
ブックマークを選択	☞ 32ページをご覧ください。
ブックマークを解除	☞ 34ページをご覧ください。
ブックマークを全解除	☞ 35ページをご覧ください。
削除予定に登録	☞ 38ページをご覧ください。
削除予定を解除	☞ 39ページをご覧ください。
削除予定を全解除	☞ 40ページをご覧ください。
プレイモード	☞ 25ページをご覧ください。
☆評価	☞ 41ページをご覧ください。
曲情報の表示	☞ 27ページをご覧ください。
電源を切る	本機の電源を切ります。
再生画面へ	再生画面を表示します。
これを再生	再生を開始します。
曲の並べ替え	☞ 36ページをご覧ください。
ブックマークアイコン変更	☞ 37ページをご覧ください。
ホームメニューへ	ホームメニューを表示します。

ご注意

- 各種設定画面など、一部の画面ではオプションメニューを表示できません。
- オプションメニューの項目は、オプションメニューを表示した画面によって項目が異なります。

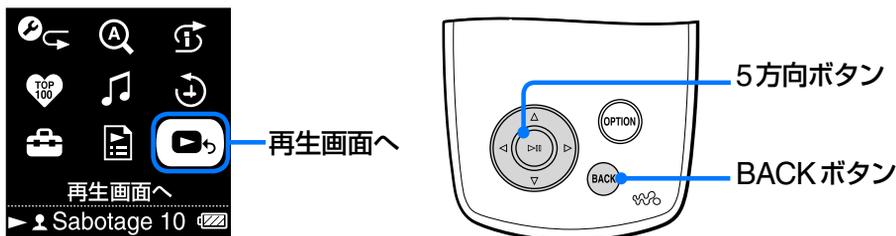
目次
メニュー
索引

再生中の曲から探す

再生画面から、再生中の曲情報で、曲やアルバム、アーティストの検索ができます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で（再生画面へ）を選び、▷II を押す。

現在再生されている曲情報が表示されます。

3 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

4 △/▽で項目を選び、▷II を押す。

「アルバムでサーチ」を選ぶと、再生中のアルバムの曲一覧が表示されます。

「アーティストでサーチ」を選ぶと、再生中のアーティストのアルバム一覧が表示されます。

「ジャンルでサーチ」を選ぶと、再生中のアーティストが属するジャンルのアーティスト一覧が表示されます。

5 △/▽/◁/▷で曲を選び、▷II を押す。

選んだ曲から再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ブックマークリストへ登録/編集する

好きな曲をブックマークリストに登録できます。ブックマークリストは5つあり、1つのブックマークリストにつき100曲まで登録できます。ブックマークリストの再生方法について詳しくは、☞ 18ページをご覧ください。

基本登録先のブックマークリストに登録する

再生画面を表示中に▷ll を押したままにするだけで、基本登録先に設定したブックマークリストへ登録できます。基本登録先のブックマークリストは変更できます（☞ 33ページ）。

1 ブックマークリストに登録したい曲の再生画面を表示し、▷ll を押したままにする。

「ブックマーク1に登録しました。」などと表示され、再生画面にブックマークのアイコン（ ）が点灯します。

ヒント

- お買い上げ時は、基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。
- 曲一覧でリストに登録したい曲を選択中に▷ll を押したままにすれば、基本登録先のブックマークリストに登録できます。
- ブックマークリストから再生を始め、▷ll を押したままにすれば、再生中の曲をブックマークリストから解除できます。

ご注意

- すでにブックマークリストに登録されている曲は、同じブックマークリストに再登録できません。
- 再生対象のブックマークリスト（曲一覧でいずれかの曲に が付いている場合）に曲は登録できません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリストを選んで登録する

登録先のブックマークリストを、「ブックマーク1～5」から選んで登録できます。

1 ブックマークリストに登録したい曲の再生画面を表示する。

2 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

3 △/▽で「ブックマークを選択」を選び、▷ІІを押す。

ブックマークリスト選択画面が表示されます。

4 △/▽で曲を登録したいブックマークリストを選び、▷ІІを押す。

「ブックマーク1に登録しました。」などと表示され、再生中にブックマークのアイコン（）が点灯します。

ヒント

- 複数の曲をブックマークリストへ登録するときは、上記手順の**1**～**4**を繰り返してください。
- 曲一覧で、ブックマークリストに登録したい曲を選択中にOPTIONを押し、オプションメニューを表示させ、「ブックマークを選択」を選んでもブックマークリストへ登録できます。
- 曲一覧で、削除したい曲を選択中にOPTIONを押すと、オプションメニューが表示されます。オプションメニューで「削除予定に登録」を選べば、削除予定リストに登録できます。
- 本機で作成したブックマークリストは、CONNECT Playerで見たり、編集したりできます。

ご注意

- すでにブックマークリストに登録されている曲は、同じブックマークリストに再登録できません。
- 再生対象のブックマークリスト（曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合）に曲は登録できません。

次のページにつづく ⇩

基本登録先のブックマークリストを変える

1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で （各種設定）を選び、▷II を押す。**

3 **△/▽ で「ブックマーク基本登録先」を選び、▷II を押す。**
ブックマークリスト一覧が表示されます。

4 **△/▽ でブックマークリストを選び、▷II を押す。**
選んだブックマークリストが、基本登録先のブックマークリストに設定されます。

ヒント

- お買い上げ時は、基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリスト内の曲を解除する

1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷II を押す。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷で解除したい曲が登録されているブックマークリストを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

4 **△/▽/◁/▷でブックマークリストから解除したい曲を選び、▷II を押す。**
再生が始まります。

5 **OPTIONを押す。**
オプションメニューが表示されます。

6 **△/▽で「ブックマークを解除」を選び、▷II を押す。**
「ブックマーク1から解除しました。」などと表示され、次の曲の再生画面を表示します。最後の曲を削除した場合は、プレイリスト一覧画面を表示します。

ヒント

- ブックマークリストから再生を始め、▷II を押したままにすれば、再生中の曲をブックマークリストから解除できます。

ご注意

- 複数のブックマークリストに登録されている曲を解除した場合、手順**3**で選んだブックマークリストからのみ解除されます。
- ブックマークリストからの曲の解除は、解除したい曲の再生中（曲一覧で解除したい曲に▶が付いている場合）のみ行えます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリスト内の全曲を解除する

1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷II を押す。
プレイリスト一覧が表示されます。

3 △/▽/◁/▷で全曲を解除したいブックマークリストを選び、▷II を押す。
曲一覧が表示されます。

4 いずれかの曲を選び、▷II を押す。
再生が始まります。

5 OPTIONを押す。
オプションメニューが表示されます。

6 △/▽で「ブックマークを全解除」を選び、▷II を押す。
確認画面が表示されます。

7 ◁/▷で「はい」を選び、▷II を押す。
選んだブックマークリストの全曲が解除されます。
「いいえ」を選ぶと、再生画面に戻ります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ブックマークリストの曲順を変える

1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷II を押す。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷で曲順を変えたいブックマークリストを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

4 **OPTIONを押す。**
オプションメニューが表示されます。

5 **△/▽で「曲の並べ替え」を選び、▷II を押す。**
曲順変更画面が表示されます。

6 **△/▽で曲順を変えたい曲を選び、▷II を押す。**
移動先選択画面が表示され、選んだ曲に矢印（⬍）が表示されます。

7 **△/▽で移動先を選び、▷II を押す。**
手順**6**で選んだ曲が、手順**7**で選んだ位置に移動します。
複数の曲を移動する場合は、手順**6**と手順**7**を繰り返します。

8 **BACKを押す。**
曲一覧に戻ります。

ご注意

- 再生対象のブックマークリスト（曲一覧でいずれかの曲にが付いている場合）の曲順は変更できません。

次のページにつづく ⇩

ブックマークリストのアイコンを変える

ブックマークリストに登録した曲に付くアイコンを選べます。
ブックマークリストに登録した曲の再生中にブックマークアイコンが表示され、どのブックマークリストに登録した曲か確認できます。

1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷II を押す。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷でアイコンを変えたいブックマークリストを選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

4 **OPTIONを押す。**
オプションメニューが表示されます。

5 **△/▽で「ブックマークアイコン変更」を選び、▷II を押す。**
アイコン選択画面が表示されます。

6 **△/▽/◁/▷でアイコンを選び、▷II を押す。**
選んだアイコンに変わります。

ヒント

- CONNECT Playerでブックマークリストの名前を変更できます。詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲を削除する

削除予定リストに曲を登録しておくと、次回CONNECT Playerに接続したときに、まとめて削除できます。削除予定リストに登録し、次回接続時に本機から削除された曲は、CONNECT Playerからは削除されません。
削除予定リストに登録できる曲は、最大100曲までです。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。

2. **△/▽/◁/▷で（再生画面へ）を選び、▷II を押す。**
   現在再生されている曲が表示されます。

3. **OPTIONを押す。**
   オプションメニューが表示されます。

4. **△/▽で「削除予定に登録」を選び、▷II を押す。**
   「削除予定リストに登録しました。」と表示され、登録が完了します。
   削除予定リストに登録した曲に 🗑 が付きます。
   登録した曲は、次回CONNECT Player接続時に、本機から削除されます。

ヒント

- 曲一覧で、削除したい曲を選択中にOPTIONを押すと、オプションメニューが表示されます。オプションメニューで「削除予定に登録」を選べば、削除予定リストに登録できます。

ご注意

- 削除予定リストに登録し本機から削除された曲は、以降、CONNECT Playerに接続しても本機に自動的に転送されません。再転送したい場合の操作については、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

削除予定リストの曲を解除する

削除予定リストの再生中に、曲一覧で⦿が付いている曲を解除できます。

1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

2 **△/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷II を押す。**
プレイリスト一覧が表示されます。

3 **△/▽/◁/▷で「削除予定リスト」を選び、▷II を押す。**
曲一覧が表示されます。

4 **△/▽で解除したい曲を選び、▷II を押す。**
再生が始まります。

5 **OPTIONを押す。**
オプションメニューが表示されます。

6 **△/▽で「削除予定を解除」を選び、▷II を押す。**
「削除予定リストから解除しました。」と表示され、次の曲が再生されます。

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

削除予定リストに登録されている全曲を解除する

削除予定リストの再生中（曲一覧でいずれかの曲に⏵が付いている場合）のみ曲を解除できます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◁/▷で（プレイリスト）を選び、▷Ⅱを押す。

プレイリスト一覧が表示されます。

3 △/▽/◁/▷で「削除予定リスト」を選び、▷Ⅱを押す。

曲一覧が表示されます。

4 ▷Ⅱを押す。

再生が始まります。

5 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

6 △/▽で「削除予定を全解除」を選び、▷Ⅱを押す。

確認画面が表示されます。

7 ◁/▷で「はい」を選び、▷Ⅱを押す。

「削除予定リストの曲を全て解除しました。」と表示され、プレイリスト一覧へ戻ります。

「いいえ」を選ぶと、解除を中止し、再生画面へ戻ります。

目次
メニュー
索引

曲を評価する

曲に最高5つまで星（☆）が付けられます（☆評価）。お気に入りの曲に星を付け、星の数から曲を探せます（☞ 14ページ）。
評価には、自分で設定できる手動設定と、CONNECT Playerが設定する自動設定があります。

手動で評価するには

1 評価したい曲を再生中に、OPTIONを押す。
オプションメニューが表示されます。

2 △/▽で「☆評価」を選び、▷II を押す。
設定画面が表示されます。

3 △/▽で星（☆）の表示に移動し、◁/▷で星の数を選び、▷II を押す。
再生画面へ戻ります。

ご注意
- 設定した評価による曲の検索は、次回CONNECT Player接続時以降からできます。

自動で評価するには

1 評価したい曲を再生中に、OPTIONを押す。
オプションメニューが表示されます。

2 △/▽で「☆評価」を選び、▷II を押す。
設定画面が表示されます。

3 △/▽で「自動」を選び、▷II を押す。
CONNECT Playerが設定する自動設定値が表示され、再生画面へ戻ります。

ヒント
- 自動設定は縁取りの星（☆）で表示され、手動設定は塗りつぶした星（★）で表示されます。
- 自動評価は、CONNECT Playerでの再生回数や再生操作をもとに、CONNECT Playerが設定します。

目次
メニュー
索引

ジャンルの近いアーティストを探す（アーティストリンク）

再生中のアーティストを起点として、ジャンルの近いアーティストやその曲を検索できます。アーティスト一覧では、カーソルの位置に合わせて曲の一部が再生されるので（プレビュー再生）、曲を聞きながらアーティストを検索できます。

1 検索の起点としたいアーティスト（キーアーティスト）の曲を再生する。

2 LINKを押す。

検索が始まります。
検索後、検索されたアーティストの一覧が表示されます。

3 △/▽でアーティストを選び、▷II を押す。

曲一覧が表示されます。
▷II を押す前にアーティストを選択したままにすると、選択中のアーティストの全曲が、自動的にプレビュー再生されます。
「全ての関連する曲」を選ぶと、アーティスト一覧のすべてのアーティストの曲がプレビュー再生され、▷II を押すと再生画面が表示されます。「検索範囲を拡大」を選ぶと、ジャンルが少し遠くなりますが、さらに幅広いアーティストの検索ができます。

4 △/▽/◁/▷ で曲を選び、▷II を押す。

選んだ曲から再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- アーティスト一覧で、アーティストを選んだ状態で、▷II を押したままにすると、選択したアーティストの全曲を再生します。
- BACKを押すと、前の画面に戻ります。
- 手順2、3でアーティスト名、曲名を選択しているときや、手順4で再生画面を表示しているときにLINKを押すと、アーティスト一覧が表示され、再生中の曲を初めから再生し、その曲の再生が終わると一時停止します。
- キーアーティストを選択中は、◁/▷/▷II は無効になります。前の曲や次の曲の頭出し、曲の早送り/早戻しはできません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 「該当するアーティストが見つかりませんでした。検索範囲を拡大しますか？」と表示された場合は、「はい」を選び、「幅広く検索する（ワイドレンジ）」の手順に従ってください。
  検索範囲を拡大しても、起点にしたアーティストに近いジャンルのアーティストがいない場合や、近いジャンルのアーティストの曲が本機に転送されていない場合、または曲情報がない場合は、「該当するアーティストが見つかりませんでした。」と表示されます。

ご注意

- アーティストリンクの機能、およびその検索結果は、今後のファームウェアのバージョンアップなどにより、変更される場合があります。
- アーティストリンクは曲情報を利用し曲を検索するため、曲情報が取得できない曲はアーティストリンクで検索されません。また、本機に保存されている曲の曲情報がない場合は、利用できません。曲情報はインターネット経由で自動的に取得できます。
- 画面に「Artist Link」が表示されているときは、本機の操作はできません。
- アーティストリンクでの検索は、通常の再生よりも電池を消耗します。

アーティストリンクを中止するには

1 アーティスト一覧でBACKを押す。

幅広く検索する（ワイドレンジ）

1 「ジャンルの近いアーティストを探す」の手順❸（☞ 42ページ）で「検索範囲を拡大」を選び、▷II を押す。

検索が始まります。検索後、検索されたアーティストの一覧が表示されます。
「全ての関連する曲」を選ぶと、アーティスト一覧のすべてのアーティストの曲がプレビュー再生されます。
「検索範囲を縮小」を選ぶと、アーティスト一覧に戻ります。
該当するアーティストがない場合は、「該当するアーティストが見つかりませんでした。」と表示されます。「戻る」を選んで ▷II を押せば、前の画面に戻ります。

2 △/▽でアーティストを選び、▷II を押す。

曲一覧が表示されます。

3 △/▽で曲を選び、▷II を押す。

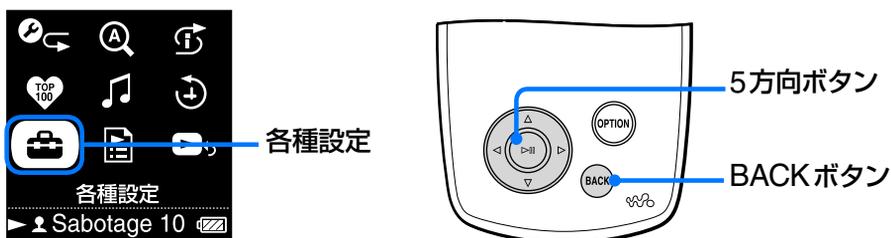
再生が始まり、選んだアーティストの全曲を再生します。

ヒント

- 「ジャンルの近いアーティストを探す」の手順❷で、「該当するアーティストが見つかりませんでした。検索範囲を拡大しますか？」と表示された場合は、「はい」を選んで、▷II を押します。
- 手順❷でキーアーティストを選択した状態でLINKを押すと、ワイドレンジで検索します。

目次
メニュー
索引

音質を設定する（6バンドイコライザ）

音楽のジャンルなどに合わせて音を設定できます。

音楽に応じた設定にする

聞きたい音楽のジャンルに応じた音質の設定ができます。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。

2. **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。**
   設定項目一覧が表示されます。

3. **△/▽で「サウンド設定」を選び、▷II を押す。**
   サウンド設定項目一覧が表示されます。

4. **△/▽で好みのサウンドを選び、▷II を押す。**
   選んだサウンドが設定され、各種設定画面へ戻ります。
   サウンド設定の各項目内容ついて詳しくは、☞ 45ページをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

サウンド設定項目一覧

選んだ設定項目が、表示窓に（ ）内のアイコンで表示されます。

設定項目	説明
サウンド効果オフ	通常の音質になります。（お買い上げ時の設定）
ヘビー（H）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ポップス（P）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ジャズ（J）	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
ユニーク（U）	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質になります。
カスタム 1（1）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます。設定方法は☞ 46ページをご覧ください。
カスタム 2（2）	

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム 1」または「カスタム 2」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。
- 「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定しているときは、サウンド設定を変更できません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

好みの音質に細かく設定する（カスタム）

表示窓を見ながら、音質をそれぞれ6つの音域と7段階の音声レベルで設定し、「カスタム 1」、「カスタム 2」として好みの音質を保存できます。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。
2. **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。**
   設定項目一覧が表示されます。
3. **△/▽で「サウンド設定」を選び、▷II を押す。**
   サウンド設定項目一覧が表示されます。
4. **△/▽で「カスタム 1」または「カスタム 2」を選び、▷II を押す。**
   設定画面が表示されます。
5. **◁/▷で音域を選択し、△/▽で音声レベルを設定する。**
   6つの音域を7レベルで設定できます。
6. **▷II を押す。**
   各種設定画面に戻ります。

設定を中止するには

1. **BACKを押す。**
   設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

目次
メニュー
索引

音量制限を設定する

音モレや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がらないように設定できます。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。**
設定項目一覧が表示されます。

❸ **△/▽で「AVLS（音量制限）」を選び、▷II を押す。**

❹ **△/▽で「オン」を選び、▷II を押す。**
AVLS* が設定されます。

* AVLSとは、Automatic Volume Limiter Systemの略です。

AVLS（音量制限）を解除するには

1 **手順❹で「オフ」を選ぶ。**
音量の制限はなく、操作に合わせて音量が変わります。

目次
メニュー
索引

操作確認音を設定する

ピッなどの操作確認音を解除できます。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。**
設定項目一覧が表示されます。

❸ **△/▽で「操作確認音」を選び、▷II を押す。**

❹ **△/▽で「オフ」を選び、▷II を押す。**
操作確認音は鳴りません。

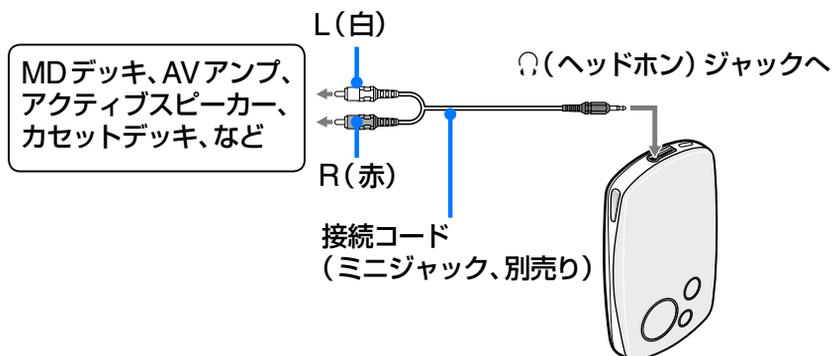
操作確認音を鳴らすには

1 **手順❹で「オン」を選ぶ。**
操作確認音が鳴るように設定されます。

目次
メニュー
索引

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音したりできます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続する。

2 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

3 △/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。

設定項目一覧が表示されます。

4 △/▽で「オーディオ出力」を選び、▷II を押す。

5 △/▽で「ラインアウト」を選び、▷II を押す。

接続した機器に音声が出力されます。

ご注意

- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。
- 付属のヘッドホンを接続しているときは、（ヘッドホン）出力の設定、「オーディオ出力」を「ラインアウト」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 「ラインアウト」に設定すると、音量調節と「サウンド設定」（☞ 45ページ）はできないだけでなく、働きません。

目次
メニュー
索引

画面の表示方法を設定する

画面表示の時間や表示するタイミングを設定できます。

1. BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

2. △/▽/◁/▷で （各種設定）を選び、▷II を押す。
設定項目一覧が表示されます。

3. △/▽で「画面表示」を選び、▷II を押す。

4. △/▽で設定を選び、▷II を押す。
設定について詳しくは、下表をご覧ください。

画面表示一覧

設定項目	説明
自動1	• 操作直後に約30秒間表示します。 • スクロール中は表示を続けます。 • 再生中は、画面表示が消えた後にアニメーションを表示します。（お買い上げ時の設定）
自動2	• 操作直後に約30秒間表示します。 • スクロール中は表示を続けます。 • 再生中は、画面表示が消えた後にアニメーションを表示します。 • 曲が切り換わると表示します。
15秒	• 操作直後に約15秒間表示します。 • スクロール中は表示を続けます。

画面の明るさを設定する

表示画面の明るさを5段階で設定できます（輝度設定）。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。**
設定項目一覧が表示されます。

❸ **△/▽で「輝度設定」を選び、▷II を押す。**
輝度設定画面が表示されます。

❹ **◁/▷で明るさを調整し、▷II を押す。**

目次
メニュー
索引

本体情報を表示する

本機の型名やシリアル番号、バージョン情報、保存されている総曲数を確認できます。

❶ BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

❷ ∆/∇/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。
設定項目一覧が表示されます。

❸ ∆/∇で「本体情報」を選び、▷II を押す。
本体情報一覧が表示されます。
∆/∇でスクロールすれば、本体情報を確認できます。

本体情報一覧

本体情報	説明
型名	本機の型名を表示します。（お買い上げ時の設定）
シリアル番号	シリアル番号を表示します。カスタマー登録の際に、シリアル番号の入力が必要となります。
バージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
総曲数	本機に保存されている総曲数を表示します。

目次
メニュー
索引

表示言語を設定する

メニューやメッセージの言語を選べます。

1. **BACKを押したままにする。**
   ホームメニューが表示されます。
2. **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷ll を押す。**
   設定項目一覧が表示されます。
3. **△/▽で「言語設定」を選び、▷ll を押す。**
4. **△/▽で表示言語を選び、▷ll を押す。**
   表示言語について詳しくは、下表をご覧ください。

表示言語一覧

表示言語	説明
日本語	日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
English	英語で表示します。
Français	フランス語で表示します。
Deutsch	ドイツ語で表示します。
Italiano	イタリア語で表示します。
Español	スペイン語で表示します。
简体中文	中国語（簡体）で表示します。
繁體中文	中国語（繁体）で表示します。
한글	韓国語で表示します。

目次
メニュー
索引

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻せます。
お買い上げ時の設定に戻しても、保存しているデータは削除されません。

❶ BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。

❷ △/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。
設定項目一覧が表示されます。

❸ △/▽で「設定初期化」を選び、▷II を押す。
設定初期化画面が表示されます。

❹ ◁/▷で「はい」を選び、▷II を押す。
「設定を工場出荷時の状態に戻しました。」と表示され、各種設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

1 手順❹で「いいえ」を選び、▷II を押す。
設定を中止し、各種設定画面に戻ります。

ご注意

- 再生中はお買い上げ時の設定に戻せません。

目次
メニュー
索引

ハードディスクを初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

❶ **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。

❷ **△/▽/◁/▷で（各種設定）を選び、▷II を押す。**
設定項目一覧が表示されます。

❸ **△/▽で「ハードディスク初期化」を選び、▷II を押す。**
ハードディスク初期化画面が表示されます。

❹ **◁/▷で「はい」を選び、▷II を押す。**
確認画面が表示されます。

❺ **◁/▷で「はい」を選び、▷II を押す。**
「ハードディスク初期化」と表示されます。
初期化が終わると、「ハードディスクの初期化が完了しました。」と表示され、各種設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

1 手順❹、または手順❺で「いいえ」を選び、▷II を押す。
設定を中止し、各種設定画面に戻ります。

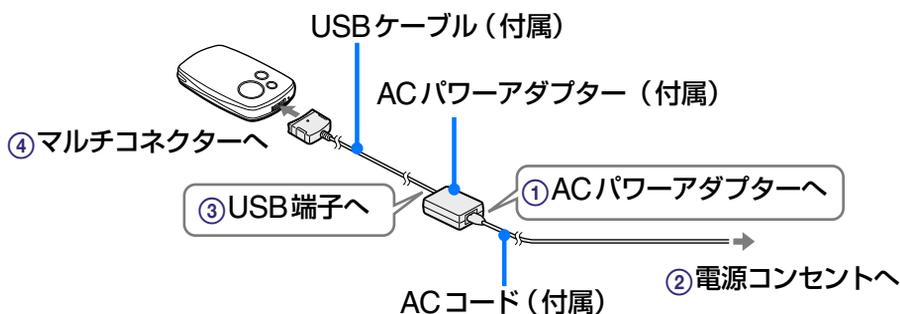
ご注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中はハードディスクを初期化できません。
- ハードディスクを初期化するとすべてのファイルが削除され、各設定値もお買い上げ時の設定値に戻ります。

目次
メニュー
索引

パソコンを使わないで充電する

本機とパソコンを接続すれば充電できますが、付属のACパワーアダプターにUSBケーブルを接続すれば、電源コンセントから充電できます。

1 以下の手順で本機をつなぐ。

充電は以下の時間で完了します。充電が終わると が点灯し、USBケーブルのランプが消灯します。

NW-A1000シリーズの場合：
約1時間で80%、約2時間で充電が完了します。

NW-A3000シリーズの場合：
約2時間で80%、約3時間で充電が完了します。

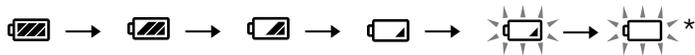
* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。例えば、満充電に近い場合は、すぐに充電が終わります。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

電池残量を確認する

再生画面または設定画面などの表示窓右下に、電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。

→ → → → → *

* 表示窓に「電池残量がありません。充電してください。」と表示され、「ピー」という音がします。

繰り返し充電について

本機に使用している電池はメモリー効果が少ないため、電池を使い切る前に充電しても充電容量は低下しません。

ご注意

- 充電には、付属のUSBケーブルとACパワーアダプター、または別売りの充電クレードルをお使いください。
- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況および使用環境により、残量表示は増減します。
- 再生中にACパワーアダプターに接続すると、再生中の曲は一時停止し、アニメーション表示後にホームメニューが表示されます。
- 電池を使い切った状態からの充電可能回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- 付属のACパワーアダプターは 100 V ～ 240 Vに対応しておりますが、ACコードは100 V対応になります。誤って使用すると、発煙・発火などの身体への被害が及ぶ可能性もありますので、海外で使用される場合には、充分にご注意ください。ただし、国により電圧、周波数などが不安定な場合があり、日本以外の国での使用は動作保証するものではありません。お客様の自己責任において海外に持ち出すことになりますので、あらかじめご了承、ご承諾をお願い申し上げます。なお、海外で使用される際には使用される国に適合したACコード/コンセントプラグ、または変圧器が必要な場合があります。

目次
メニュー
索引

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や電源管理を適切に行えば、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

手動で電源を切る

再生が一時停止した状態でしばらく放置しておくと電源は自動的に切れますが、手動で電源を切れば、電池の消耗を抑えられます。
手動で電源を切るには、各画面からオプションメニューを表示させ、「電源を切る」を選びます。または、OPTIONを押したままにします。

画面表示時間を設定する

「画面表示」を「15秒」に設定すれば（☞ 50ページ）、「自動1」や「自動2」よりも電池が長持ちします。

画面の明るさを設定する

「輝度設定」で輝度を下げれば（☞ 51ページ）、電池が長持ちします。

音質設定をオフにする

「サウンド設定」で「サウンド効果オフ」に設定すれば（☞ 45ページ）、他の設定より電池が長持ちします。

パソコン接続時のご注意

USB接続時にパソコンがサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）に入ると、充電されないため電池が消耗します。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

音楽ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をCONNECT Playerへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：MPEG-1（エムペグ） Audio（オーディオ） Layer3（レイヤー）の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows Media Audioの略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：ATRAC（Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング））は、ATRAC3およびATRAC3Plusの総称で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。ATRAC3では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、ATRAC3plusでは、約20分の1に圧縮できます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。
本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞88ページをご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC形式でCONNECT Playerに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC形式でCONNECT Playerに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、同じビットレートのATRAC形式で取り込む必要があります。
- CONNECT Playerでは、ATRAC形式でも曲間が空いて再生されます。

SonicStageに保存している曲を再生する

SonicStageに保存している曲をCONNECT Playerへ取り込めば、本機で再生できます。
CONNECT Playerへの曲の取り込みについて詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

ご注意

- SonicStageに保存している曲（音楽データ）のうち、拡張子が「.omg」のOpenMG形式の音楽ファイルは、CONNECT Playerへ取り込めません。「SonicStageファイル一括変換ツール」を使い、拡張子を「.oma」の音楽ファイル形式に変換してからCONNECT Playerへ取り込んでください。詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

CONNECT Playerを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ヒント

- CONNECT Playerでは、取得したアルバム名やアーティスト名、曲名が日本語の場合、読み仮名を判断し50音順で表示します。
  本機にはこの情報を含めて転送されるため、読み仮名で検索できます。
- アーティストの姓と名の間にスペースがない方が、読み仮名変換の精度が高くなります。取得した曲情報のアーティスト名の姓と名の間にスペースがある場合は、曲情報を編集してください。曲情報の編集について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

ご注意

- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、CONNECT Playerで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。
Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、CONNECT Playerは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3やWAVなどのファイルを転送しても本機では再生できません。CONNECT Playerを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USBケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSBケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。本機のハードディスクの初期化について詳しくは、☞ 55ページをご覧ください。
- Windows上では、本機のハードディスクの容量は少なく表示されます。ハードディスクは、1GBを10億バイトで計算し、Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しているためです。
  本機では以下のように表示されます。
  NW-A1000：約5.6 GB（5,980,979,200 バイト）
  NW-A1200：約7.29 GB（7,836,237,824 バイト）
  NW-A3000：約18.2 GB（19,542,409,216 バイト）

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機に最新のファームウェアをインストールすれば、新しい機能などを追加できます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

1. **「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページから、デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツールをダウンロードする。**

2. **本機をパソコンへ接続し、デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツールを起動する。**

3. **デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツールのメッセージに従ってアップデートを行う。**
   メッセージに従ってアップデートを進めていくと、「ソフトウェアを更新する準備ができました。[ハードウェアの安全な取り外し]を実行し、機器からUSBケーブルをはずすとソフトウェアの更新が始まります。」と表示されます。

4. **本機をパソコンから取り外す。**
   ファームウェアのアップデートが自動的に始まります。
   アップデートが終わると、自動的に本機が再起動します。

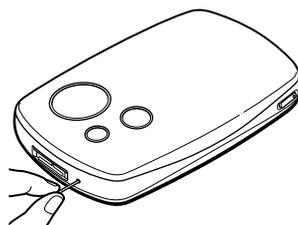
   ヒント
   ファームウェアのアップデートに必要な電池残量がない場合は、「ファームウェアのアップデートに必要な電池残量がありません。充電してください。」と表示されます。充電後、もう一度デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツールを起動し、ファームウェアの更新を行ってください。

目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 クリップなどの細い棒で、本機底面のRESETボタンを押す。

RESETボタンを押しても、本機に保存しているデータや設定は消去されません。

2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 CONNECT Playerを使用しているときは、CONNECT Playerのヘルプで調べる。

4 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

5 手順1 〜 4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞ 94ページ）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
USBケーブルのランプが点灯しない。	→ USBケーブルの端子が汚れています。乾いた柔らかい布などで端子を拭いてください。 → USBケーブルが正しく接続されていません。USBケーブルをまっすぐに本機の接続部の奥までしっかり差し込み、USBケーブルのランプが点灯するのを確認してください。
本機の電源が自動的に切れた。	→ 一時停止状態のまましばらく放置すると、本機の電源が切れます。HOLD以外のボタンを押すと電源が入ります。
電池の持続時間が短い。	→ 5℃以下の環境で使用している可能性があります。電池の特性によるもので故障ではありません。 → 本機を長期間使用していなかった場合、一時的に電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。 → 電池の交換が必要です。ソニーサービス窓口にお問い合わせください。 → 充電時間が短い可能性があります。（電池アイコン）が表示されるまで、充電してください。

次のページにつづく ⇩

音声

症状	原因／処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	→ 音量がゼロになっています。音量を上げてください（☞ 7ページ）。 → ヘッドホンがしっかり差し込まれていません。 🎧（ヘッドホン）ジャックにしっかり差し込んでください（☞ 7ページ）。 → ヘッドホンのプラグが汚れています。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭いてください。 → 本体に曲が入っていません。
再生音が大きくならない。	→ 「AVLS（音量制限）」が「オン」に設定されています。 「AVLS（音量制限）」を「オフ」に設定してください（☞ 47ページ）。
右チャンネルから音が出ない。	→ ヘッドホンがしっかり差し込まれていません。 🎧（ヘッドホン）ジャックにしっかり差し込んでください（☞ 7ページ）。
音量を調節できない。	→ 「オーディオ出力」が「ラインアウト」に設定されています。接続した機器側で音量を調節してください。または「オーディオ出力」を「ヘッドホン」に設定してください（☞ 49ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	→ 「オーディオ出力」が「ヘッドホン」に設定されています。 「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定してください（☞ 49ページ）。

操作／再生

症状	原因／処置
ボタン操作に反応しない。	→ ホールドになっています（誤操作防止状態）。HOLDボタンを押したままにし、ホールドを解除してください（☞ 7ページ）。 → HOLD以外のボタンを押してください。 → ホールド状態のまま本機の電源が切れた場合は、HOLD以外のボタンを押して本機の電源を入れると、ホールド中のメッセージが表示されます。メッセージの表示中にHOLDボタンを押したままにして、ホールドを解除してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

操作/再生(つづき)

症状	原因/処置
ボタン操作に反応しない。(つづき)	→ 結露(本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に付着する水滴)が生じている可能性があります。そのまま約2、3時間置いてください。 → 電池の残量が少なくなっています。充電をしてください(☞ 56ページ)。
ホールドにできない。	→ 本機の電源が切れているときは、HOLDボタンを押してもホールド状態にはできません。HOLD以外のボタンを押して本機の電源を入れ、HOLDボタンを押したままにしてください。「ホールドオン」と表示された後、しばらくそのまま放置しておくと、ホールド状態のまま本機の電源が切れます。
再生していたら急に音が止まった。	→ 電池が消耗しています。充電してください(☞ 56ページ)。 → 本機で再生できない音楽データを再生しようとしています(☞ 88ページ)。▷を押して別の曲を選び、再生してください。 → 長時間振動を与え続けた可能性があります。振動をなくし、再度再生してください。
タイトル欄に「□」と表示される。	→ 本機で表示できない文字が使用されています。 付属のCONNECT Playerソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
表示が消える。	→ 操作ボタンを押してください。 「画面表示」を「15秒」に設定し、15秒以上操作がないと自動的に表示が消えます。また、曲名などをスクロール中のときは、スクロール終了後、表示が消えます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/CONNECT Player

症状	原因 / 処置
インストールできない。	➔ 対応のOS以外のOSを使っている可能性があります。「CONNECT Player はじめにお読みください」をご覧ください（☞「クイックスタートガイド」）。 ➔ すべてのWindowsのソフトウェアを終了してください。他のソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 ➔ ハードディスクの空き容量が足りません。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 ➔ Administrator権限またはコンピューターの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピューターの管理者でログオンしてください。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	➔ インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
CONNECT Playerが起動しない。	➔ WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/support-pa/）のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/CONNECT Player（つづき）

症状	原因 / 処置
USBケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「接続中」と表示されない。	➔ USBケーブルが正しく接続されていません。USBケーブルをいったん抜き、まっすぐに本機の接続部の奥までしっかり差し込んでください。 ➔ USBハブを使用すると、表示されない場合があります。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に直接接続してください。 ➔ CONNECT Playerの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 ➔ パソコン上で他のソフトウェアが起動していると、表示されない場合があります。しばらくしてから、USBケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 ➔ 電池が消耗しきっています。ACパワーアダプターを接続して充電してください（☞ 56ページ）。 ➔ ソフトウェアのインストールに失敗している可能性があります。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない。	➔ USBケーブルがきちんと接続されていません。USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 ➔ USBハブを使用すると、認識されない場合があります。動作保証外のため、パソコンUSB端子に接続してください。 ➔ ソフトウェアのインストールに失敗している可能性があります。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。登録した音楽データは引き継がれます。

次のページにつづく ⇩

パソコンとの接続/CONNECT Player（つづき）

症状	原因 / 処置
転送できない。	→ USBケーブルがきちんと接続されていません。USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 → 本体内の空き容量が不足しています。聞かなくなった曲を削除し（☞ 38ページ）、空き容量を増やしてください。 → 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 → 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
転送できる曲数が少ない。 （録音できる時間が短い。）	→ 本体内の空き容量が不足しています。聞かなくなった曲を削除し（☞ 38ページ）、空き容量を増やしてください。 → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やしてください。
パソコンに戻せない。	→ 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。 → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない。	→ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しません。動作保証外のため、付属のUSBケーブルで直接パソコンと接続してください。

次のページにつづく ⇩

その他

症状	原因 / 処置
操作時の確認音が鳴らない。	➔「操作確認音」が「オフ」に設定されています。「操作確認音」を「オン」に設定してください（☞ 48ページ）。
本体が温かくなる。	➔ 充電中または充電直後です。急速充電のため、充電中および充電直後は一時的に温かくなることがあります。また、大量の曲を転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。
本体から「キーン」という音がする。または、震えることがある。	➔ 内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。
曲が切り換わるときに画面が点灯する。	➔「画面表示」が「自動2」に設定されています。「自動1」または「15秒」に設定してください。
本機が安定しない。	➔ 平らな机の上などに置いたまま操作すると、本機が安定しません。本機を手で持つ、または片方の手で押さえて操作してください。
曲を停止できない。	➔ 本機では曲の停止は、一時停止になります。
充電がすぐに終わる	➔ 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。充電が終わると が点灯し、USBケーブルのランプが消灯します。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

エラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
一部の機能は利用できません。利用するためには対応ソフトと接続し、情報を転送してください。	• データベースが壊れている。 • CONNECT Player以外の音楽管理ソフトウェアに接続した。	→ CONNECT Playerに接続してください。
オーディオ出力がラインアウトの時は音量調整を行うことができません。	「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定中に、音量を調節しようとした。	→「オーディオ出力」を「ヘッドホン」に設定してください。
オーディオ出力がラインアウトの時はサウンド設定を行うことができません。	「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定中に、「サウンド設定」を変更しようとした。	→「オーディオ出力」を「ヘッドホン」に設定してください。
音楽ファイルが転送されていません。対応ソフトと接続し、音楽ファイルを転送してください。	プレイリストの音楽ファイルが転送されていない。	→ CONNECT Playerから曲を転送し直してください。
曲がありません。 対応ソフトと接続し、曲を転送してください。	本機に曲が1曲も転送されていないときに、ホームメニューから、「インテリジェントシャッフル」、「リストサーチ」、「再生画面へ」を選んで再生しようとした。	→ 本機に曲を転送してください（☞「クイックスタートガイド」）。
曲の再生中は実行できません。再生を一時停止してからもう一度実行してください。	再生中に選択できない項目を決定した。	→ 再生を一時停止し、項目を選択し直してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
現在この機能は利用できません。利用するためには対応ソフトと接続し、情報を転送してください。	イニシャルサーチに必要なデータが本機に転送されていないのに、イニシャルサーチをしようとした。	→ CONNECT Player を使い、曲情報を本機に取り込んでください。
この機能を利用するためには、対応ソフトと接続する必要があります。	アーティストリンクで検索するのに必要なデータが本機にない。	→ CONNECT Player を使い、曲情報を本機に取り込んでください。
この曲は既に削除予定リストに登録されています。	すでに削除予定リストに登録されている曲を再度登録しようとした。	→ 削除予定リストに登録されている曲は再度登録できません。
この曲は既にブックマークに登録されています。	すでにブックマークリストに登録されている曲を再度登録しようとした。	→ 1つの曲を同じブックマークリストへ再度登録できません。
再生可能な曲が含まれていません。曲を登録してからもう一度実行してください。	再生しようとしている項目に、曲が1曲もない。	→ CONNECT Playerから本機に曲を転送してください（☞「クイックスタートガイド」）。
再生中のブックマークには登録できません。	再生対象のブックマークリスト（曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合）に曲を登録しようとした。	→ ジャンルやアルバムなどから再生を始め、登録してください。
再生中のブックマークは曲の並べ替えをすることができません。	再生対象のブックマークリスト（曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合）の曲順を変更しようとした。	→ 他のブックマークリスト、またはジャンルやアルバムなどをから再生を始め、曲順を並び替えてください。
再生できません。音楽ファイルが破損しています。対応ソフトと接続し、再度転送してください。	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直してください（☞「クイックスタートガイド」）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
再生できません。対応ソフトと接続し、情報を更新してください。	本機の時刻設定が無効になっている。	→ CONNECT Playerに接続してください（☞「クイックスタートガイド」）。
再生できません。××時間後に再生可能になります。 （××には時間数が表示されます。）	再生期限開始前に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できません。
再生できません。未対応の音楽ファイルです。	• 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 • 再生回数制限付きの曲を再生しようとした。	→ 本機で再生が許可されていない曲は再生できません。
削除予定リストに曲が登録されていません。	削除予定リストに1曲も登録されていないのに、削除予定リストを再生しようとした。	→ 削除予定リストに曲を登録してください。
削除予定リストの再生中に実行してください。	削除予定リストを再生せずに、リストから曲を解除しようとした。	→ 削除予定リストの再生中（曲一覧でいずれかの曲に⦿が付いている場合）に解除してください。
削除予定リストの再生中には登録できません。	削除予定リストの再生中（曲一覧でいずれかの曲に⦿が付いている場合）に、曲を登録しようとした。	→ 削除予定リスト以外のリストから曲を再生し、登録してください。
システムエラーです。<No.［×××］> （×××には番号が表示されます。）	システムエラーが発生した。	→ 本機をリセットしてください。 それでも繰り返しシステムエラーが起こる場合は、エラー番号をメモし、お買い上げの販売店、またはソニーサービス窓口に修理をお申し付けください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
システムファイルに不整合があります。	システムファイルに不整合がある。	→ ハードディスクを初期化し（☞ 55ページ）、本機に音楽データを転送し直してください（☞「クイックスタートガイド」）。
充電できません。5℃～ 35℃内で充電してください。	充電可能温度（5 ～ 35℃）の範囲外で充電しようとした。	→ 5 ～ 35℃の範囲内で充電してください。
データベースがありません。対応ソフトと接続してください。	CONNECT Player接続終了時に本機に曲や必要な情報がない。	→ 再度パソコンに接続し、外してください。 → 本機に音楽データを転送してください（☞「クイックスタートガイド」）。
データを保存することができませんでした。ハードディスクは 5℃～ 35℃で書き込むことができます。	書き込み可能温度（5 ～ 35℃）の範囲外で操作しようとした。	→ 5 ～ 35℃の範囲内で操作してください。
電池残量がありません。充電してください。	電池残量がない。	→ 充電してください（☞ 56ページ）。
何か曲を再生してからもう一度実行してください。	何も曲を再生していないときに、LINKボタンを押した。	→ 曲を再生し、LINKボタンを押してください。
必要な情報がありません。対応ソフトと接続し、情報を転送してください。	本機に曲が1曲も転送されていないときに、ホームメニューから、「プレイリスト」、「再生履歴」、「よく聞く100曲」を選んで再生しようとした。	→ 本機に曲を転送してください（☞「クイックスタートガイド」）。
ファームウェアのアップデートに必要な電池残量がありません。充電してください。	ファームウェアの更新に必要な電池残量がない。	→ 充分に充電してから、ファームウェアを更新してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
ブックマーク再生中に実行してください。	再生対象のブックマークリスト再生中（曲一覧でいずれかの曲に⦿が付いている場合）以外に、ブックマークリストから曲を解除しようとした。	➔ ブックマークリストから解除したい曲を再生中以外、解除できません。
ブックマークに曲が登録されていません。オプションメニューから何か曲を登録してください。	1曲も登録されていないブックマークリストを再生しようとした。	➔ 曲が登録されていないブックマークリストは再生できません。曲をブックマークリストに登録してください。
ライセンス期限が過ぎているため再生できません。対応ソフトと接続し、ライセンス情報を更新してください。	再生期限付きの曲のライセンスが無効になっている。	➔ 再生期限外の曲は再生できません。
ライセンスの有効期限があと××時間です。対応ソフトと接続し、ライセンス情報を更新してください。（××には時間数が表示されます。）	サブスクリプション以外の有効期限がある曲について、有効期限が近づいている。	➔ CONNECT Playerに接続し、ライセンス情報を更新してください。
AVLS（音量制限）がオンになっています。これ以上音量を上げられません。	音量がAVLSの制限値まで上がった。	➔「AVLS（音量制限）」の設定を「オフ」にしてください（☞ 48ページ）。
ハードディスクが正しく初期化されていません。各種設定からハードディスク初期化を実行してください。	● ハードディスクが正しく初期化されていない。 ● パソコンで初期化されている。 ● ハードディスク交換などで初期化していない。	➔「各種設定」からハードディスクを初期化し直してください（☞ 55ページ）。
ホールド中です。 **HOLD ボタンを押したままにしてホールドを解除してください。**	HOLDボタンがONになっているため、本機の操作ができない。	➔ HOLDボタンを押したままにし、ホールドを解除してください（☞ 7ページ）。ホールドは、本機に電源が入っている場合のみ解除できます。

次のページにつづく ⇩

表示	意味	処置
100 曲以上は登録できません。	ブックマーク、または削除予定リストの登録制限数を超えた。	→ 不要な曲を、ブックマークリスト、または削除予定リストから解除し（☞38ページ）、制限数以内で登録してください。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

CONNECT Playerをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

❶ 「スタート」メニューから「コントロールパネル」[1)] をクリックする。

❷ 「プログラムの追加と削除」[2)] をダブルクリックする。

❸ 一覧から「CONNECT Player」を選び、「変更と削除」をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

1) Windows 2000では「設定」→「コントロールパネル」
2) Windows 2000では「アプリケーションの追加と削除」

ご注意

- CONNECT Player をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

試聴用楽曲について

本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。この楽曲データは店頭での試聴用途のためのものですので、お客様がお使いのPCに転送することはできません。楽曲を削除される場合は、CONNECT Player上で行って頂きますようお願いいたします。
（地域によっては試聴用楽曲データがプリインストールされていない場合があります。）

次のページにつづく ⇩

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - 曲のID3タグ情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵の電池（充電式電池）を取り出してください。
NW-A1000シリーズをご利用の場合は☞83ページ、NW-A3000シリーズをご利用の場合は☞84ページをご覧ください。

⚠警告

本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

⚠注意

- 内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。
- 内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

リチウムイオン電池の廃棄について

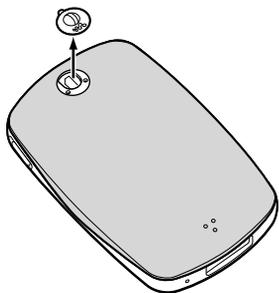
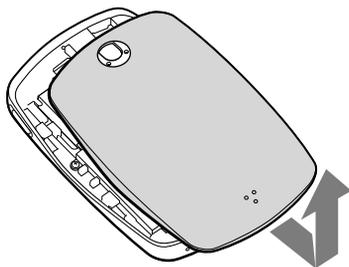
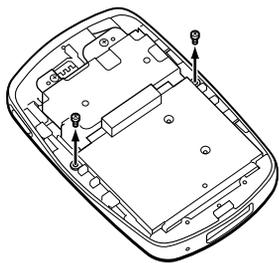
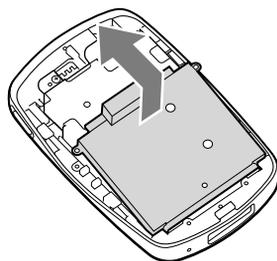
リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。
URL: http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

次のページにつづく ⇩

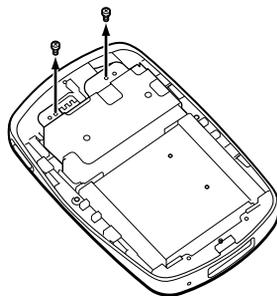
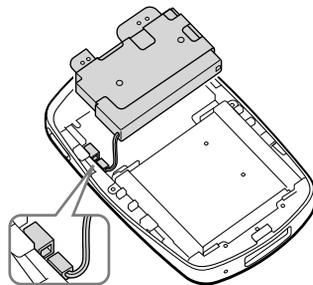
目次
メニュー
索引

NW-A1000シリーズ内蔵の電池を取り出すときは

1 **本体裏面のストラップ取り付け部を取る。**

ストラップ取り付け部の側面から、ピンセットなどを使って外してください。

2 **本体裏面のプレートを矢印の方向に外す。**

3 **カバーの横にある2本のネジを外す。**

4 **カバーを本体から矢印の方向に外す。**

5 **電池の横にある2本のネジを外す。**

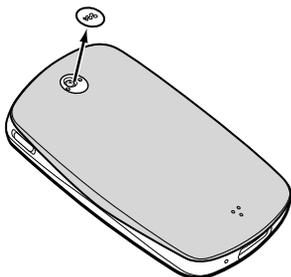
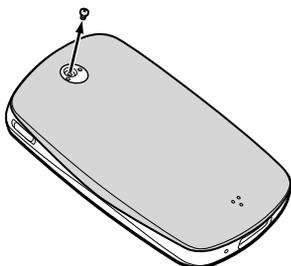
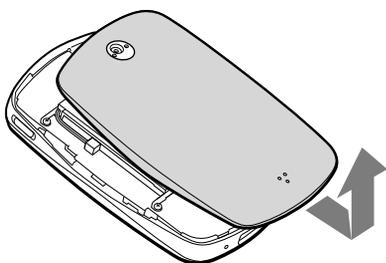
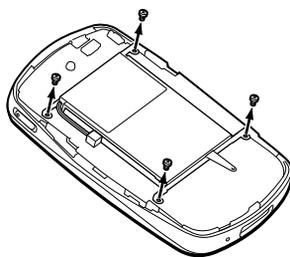
6 **本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。**

ご注意

- 電池に付いている金具は、取り外さずに電池と一緒に廃棄してください。

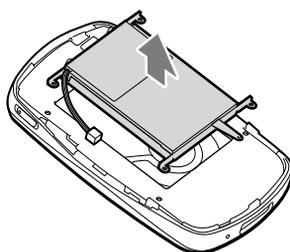
次のページにつづく ⇩

NW-A3000シリーズ内蔵の電池を取り出すときは

1 本体裏面のネジカバーを取る。

ネジカバーの側面から、ピンセットなどを使って外してください。

2 カバー内にあるネジを外す。

3 本体裏面のプレートを矢印の方向に外す。

4 電池の横にある4本のネジを外す。

5 電池を本体から外す。

6 本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。

ご注意

- 電池に付いている金具は、取り外さずに電池と一緒に廃棄してください。

お手入れ

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

商標について

- CONNECT Playerおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN" はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。WALKMANロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe,Inc. United States Patent 6,304,523. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生信号圧縮方式（再生できる音楽ファイル形式）

– MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）
– Windows Media Audio（WMA）*
– アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング（ATRAC）

* ファームウェアのバージョン2.0以降で対応。ファームウェアのバージョンの確認方法は、☞ 52ページの「本体情報を表示する」をご覧ください。また、ファームウェアをアップデートする場合は、☞ 64ページの「ファームウェアをアップデートする」もご覧ください。

記録できる最大曲数*と時間の目安

* 1曲4分の曲を転送した場合

	NW-A1000		NW-A1200	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	4,000曲	266時間40分	5,300曲	353時間20分
64 kbps	3,000曲	200時間	3,900曲	260時間
96 kbps	2,000曲	133時間20分	2,600曲	173時間20分
128 kbps	1,500曲	100時間	1,900曲	126時間40分
132 kbps	1,500曲	100時間	1,900曲	126時間40分
160 kbps	1,200曲	80時間	1,500曲	100時間
192 kbps	1,000曲	66時間40分	1,200曲	80時間
256 kbps	750曲	50時間	900曲	60時間
320 kbps	600曲	40時間	700曲	46時間40分

	NW-A3000	
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	13,000曲	866時間40分
64 kbps	10,000曲	666時間40分
96 kbps	6,700曲	466時間40分
128 kbps	5,000曲	333時間20分
132 kbps	4,900曲	326時間40分
160 kbps	4,000曲	266時間40分
192 kbps	3,300曲	220時間
256 kbps	2,500曲	166時間40分
320 kbps	2,000曲	133時間20分

対応ビットレート

MP3：32 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）
WMA：48 ～ 192 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）
ATRAC：48/64/66（ATRAC3）*/96/105（ATRAC3）*/128/132（ATRAC3）/160/192/256/320 kbps

* CONNECT Playerでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

サンプリング周波数

MP3、WMA、ATRAC：44.1 kHz

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

周波数特性*
20 Hz ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）
* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

S/N比
ヘッドホン：84 dB以上
LINE OUT：94 dB以上

出力端子
♫（ヘッドホン）/LINE OUT**：ステレオミニジャック/195 mV（10k Ω）
** ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度
5 ～ 35℃

電源
DC IN 5V 内蔵充電式電池使用
ACパワーアダプター：DC IN 5V

電池持続時間（連続再生時）*

	ATRAC形式（48 kbps）	ATRAC形式（128 kbps）	MP3形式（128 kbps）	WMA形式（128 kbps）
NW-A1000シリーズ	約20時間	約17時間	約17時間	約16時間
NW-A3000シリーズ	約35時間	約29時間	約29時間	約28時間

* 画面表示15秒の場合

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
NW-A1000シリーズ：約55.0×88.1×18.7 mm（最薄部11.5 mm）*
NW-A3000シリーズ：約65.2×104.2×21.4 mm（最薄部13.5 mm）*
* 最大突起部を含まず

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA**）
NW-A1000シリーズ：約55.0×88.1×18.7 mm
NW-A3000シリーズ：約65.2×104.2×21.4 mm

質量
NW-A1000シリーズ（本体）：約109 g（JEITA）**
NW-A3000シリーズ（本体）：約182 g（JEITA）**
** 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

CONNECT Player

動作環境

- OS について
  - Windows 2000 Professional（Service Pack 4 以降）
  - Windows XP Home Edition
  - Windows XP Professional
  - Windows XP Media Center Edition
  - Windows XP Media Center Edition 2004
  - Windows XP Media Center Edition 2005

  を標準インストールした IBM PC/AT 互換機専用です。（日本語版のみ）

- CPU、メモリについて
  Pentium III 450 MHz以上、RAM 256 MB以上（512 MB以上を推奨）の環境が必要です。

- ハードディスクについて
  ハードディスクには200 MB以上の空き容量が必要です。
  Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。

- ディスプレイの設定について
  画面の解像度：800×600 ピクセル以上（1024×768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256以下では正しく動作しない場合があります）

- CD-ROM ドライブについて
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CDの作成を行うためには、CD-R/RW ドライブが必要です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

目次
メニュー
索引

別売りの周辺機器について

本機用の推奨アクセサリーとして、下記のアクセサリーをご案内いたします。

- 液晶なしリモート・コントローラー
  RM-NWS1
- 漢字表示対応スティック・コントローラー
  RM-MC35ELK
- 充電クレードル
  BCR-NWU1
- 本革キャリングケース
  CKM-NWA1000（NW-A1000シリーズ用）
  CKM-NWA3000（NW-A3000シリーズ用）
- ソフトキャリングケース
  CKS-NWA1000（NW-A1000シリーズ用）
  CKS-NWA3000（NW-A3000シリーズ用）

ご注意

- RM-MC35ELKの一部の機能は、本機では使えません。
- 各アクセサリーについて詳しくは下記URLをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/support-pa/

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

次のページにつづく ⇩

は行

ま行

や行

ら行

わ、を、ん

A、B、C、D

E、F、G、H

I、J、K、L

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

数字・記号

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆ セット本体に関するご質問時：
      - 型名：本体裏面に記載
      - 製造（シリアル）番号：本体裏面のラベルに記載
        ホームメニューの「各種設定」–「本体情報」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
      - ご相談内容：できるだけ詳しく
      - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　お客様ご相談センター ● ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ● 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください） ● FAX　0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00